



【スポ協だより】

スポーツひた

第10号

2024年12月発行

発行/日田市スポーツ協会

日田市上城内町2番6号

(中央公民館内)

Tel.・Fax 0973-24-2202

第77回 大分県民 スポーツ大会

日田市の総合成績が4位から3位へ！

大会終了後、1競技で加点ミスが見つかり訂正（順位の変更は日田市、中津市のみ）

第七十七回大分県民スポーツ大会の総合開会式が、九月七日（土）中津市のダイハツ九州アリーナで、約九百人の関係者を集めて行われました。

日田市選手団は、椋野団長（市長）を先頭に役員・選手（バドミントン競技）が入場行進しました。

式典では、大会会長の佐藤樹一郎知事があいさつした後、四十回出場者等の表彰、大会スローガン作成者の表彰、続いて地元選手による力強い選手宣誓が行われました。

大会は七日から三日間、十七郡市十六チーム（国東市と東国東郡は合同）で争われ、県北地区（宇津・宇佐・豊後高田各志）を中心とした各会場で熱戦が繰り広げられました。

主な成績は、ウエイトリフティング、山岳、グラウンド・ゴルフがそれぞれ連覇し、ラグビー、ゴルフが2位に、3位に8競技が入りました。

総合成績は、一旦、中津市に0.5点及ばず第4位となり大会を終了。その後、水泳競技で参加点の加点ミスが見つかり、日田市は総合3位に修正されました。（十一月発表）



プラカード倉嶋詩織選手、旗手松田卓也選手に続いて行進する日田市選手団



本大会スローガン作成者の日田市穴井永美子さん(左)を祝福する椋野市長

◆日田市の上位成績◆

【選手団：（34競技 45種目）役員・選手583名】

- 優勝：ウエイトリフティング(2年連続24回目)
山岳(2年連続2回目)
グラウンド・ゴルフ(2年連続5回目)
- 準優勝：ラグビー、ゴルフ
- 第3位：陸上、相撲、弓道、バドミントン
剣道、バレーボール
バスケットボール、カヌー

第77回大分県民スポーツ大会

大会スローガン【輝く汗 光る笑顔 県北から広がり スポーツの輪】
(作成者 穴井永美子さん)

＜郡市対抗得点表＞

(訂正後の順位の変更は、日田、中津のみ)

部	順位	郡市名	総得点
A部	1	大分市	392.0
	2	別府市	296.0
	3	日田市	281.0
	4	中津市	279.5
	5	佐伯市	233.5
B部	6	臼杵市	200.5
	7	由布市	196.5
	8	宇佐市	194.5
	9	杵築市	193.0
	10	国東市・東国東郡	178.0
C部	11	豊後高田市	167.0
	12	速見郡	165.0
	13	豊後大野市	152.0
	14	竹田市	140.0
	15	玖珠郡	138.0
	16	津久見市	136.5

次回県民スポーツ大会でリベンジ、解団式で上位誓う ＝「競技力向上事業」を活用して選手強化を！＝



県連会長佐藤重徳八段による形講習

九月二十六日（木）寶屋で役員・選手を集めて行われた県民スポーツ大会解団式では、僅差で総合順位を下げたことから、各競技団体が1点の重みを強く受け止め、来年に向けて選手強化に取組む決意を表明する場となりました。

日田市の「競技力向上事業」補助金を活用して、次回大会でのリベンジを果たしてほしいと願っています。（後日、総合順位は3位に修正）

この事業を利用して今年六月、空手道形講習会が開催されました。次の写真は空手道連盟が、市外の講師を招いて行った実技講習の様子です。

市スポーツ協会前会長樋口さんに 日田市政功労者表彰が贈られる

十一月三日(日)文化の日に日田市民文化会館(パトリア日田)で日田市政功労者表彰式が行われました。
今年度の表彰式では、地方自治、生活環境、福祉、観光、農林、教育文化でそれぞれ功績のあった十二名の方々が表彰されました。
その栄えある表彰者に日田市スポーツ協会前会長の樋口紅史氏が選ばれました。



棕野美智子市長から市政功労者表彰を受ける樋口紅史前会長

樋口氏の功績は、市スポーツ協会会長として、日田市のスポーツの振興・発展に貢献したというものです。

スポーツ分野での市政功労者の表彰は、スポーツ関係者にとりましても大変喜ばしいことであり、スポーツが市政発展に寄与していることの証しでもあります。

樋口前会長に祝辞を送ると共に、協会は加盟団体の協力のもと、地域、家庭、職場でのご理解とご支援をいただきながら、本市発展のためなお一層、スポーツを推進して参ります。

スポーツ医学研修講座を開催

スポーツ関係者等七十八名が受講

恒例のスポーツ医学研修講座が、十一月十三日(水)、大分市医師会立アルメイダ病院の整形外科部長、松本善企先生をお招きし、市役所大会議室で開催されました。

今回の講座は、スポーツ選手を中心にした内容ではなく、「子ども、中・高年の体力づくり」をテーマに基本的な知識を講師の松本先生が分かりやすく話してくださいました。講座内容の一部を下記で紹介しています。

講演する松本先生



講演の合間にストレッチ指導



講演では、事前に受講生から質問を受け付け、松本先生が講演の中で答える形を取り、有意義な研修となりました。

また、講演の感想では「具体例があり分かりやすかった」「情報が新しく興味を湧いた」「日々コツコツが将来のワクワク」と言われたように、体を動かすことを楽しみながら、健康づくりしたい」など、好意的で、前向きなものが多くありました。

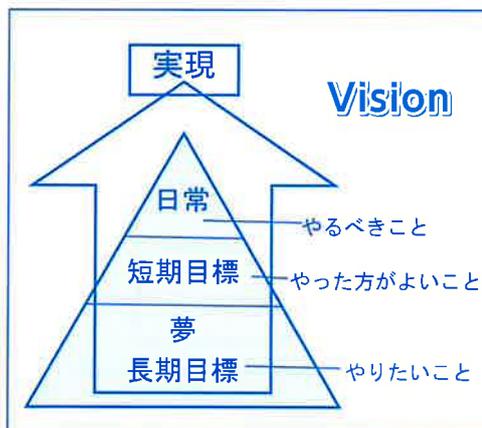
講演後の質問では、「いい医師を見つけるには」「運動した後の回復方法」などについて質問が出され、熱心さが伝わった講演会となりました。

Enjoy

- スポーツはケガが付きもの？
痛みと上手に付き合いながら練習を続ける？
- 痛みがなくなる=完治？
痛みがないから万全というわけではない
テーピングをすれば大丈夫
- 早期復帰を許可する医者≠名医
心から信頼できる医者を見つけましょう

◇スポーツの目的

- ・心身の発育・発達の促進
- ・社会性(自主性・協調性・責任感・連帯感)
- ・生涯スポーツの基盤



Vision
夢、目標

Enjoy
楽しむ

習慣化

継続力

主体性

【研修講座から】

Conditioning Concept

◇健康の三原則
運動・栄養・休養



3つのバランスを保つことが大切!



骨盤後傾

肩甲骨前傾

現代の子どもの特徴

- ・自分でゴール(夢、目標)を設定する機会がない
- ・子どもたちで話し合ってルールを変える(忍耐力)

スポーツ=教えてもらうもの

主体性のある人
理解しようとする
自ら進んで行く
知的好奇心が旺盛
能力に自信あり

主体性のない人
マイナス思考
他人任せ
なんでも良いが口癖
指示がないと行動できない